

大谷大学博物館 2022年度冬季企画展 2023年1月17日(火)～2月18日(土) 開催  
世界最大級の木造建築「御影堂」をはじめとする再建関連の絵図などを展示

しゅえん つのり ふぎん つとめ さいこん  
衆縁の募 斧斤の力 一幕末・明治東本願寺再建の歴史

【内覧会のご案内】2023年1月16日(月) 10:30～11:30

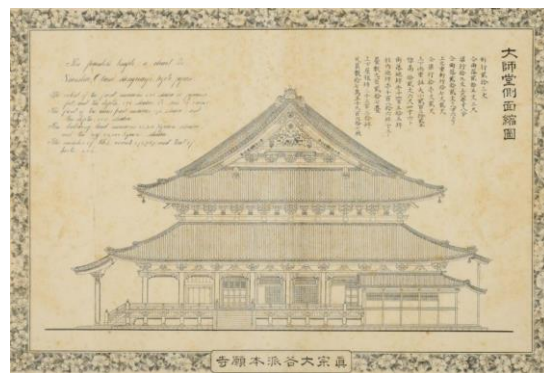
大谷大学(所在:京都市北区 学長:一楽 真)は、2023年1月17日(火)～2月18日(土)の期間、大谷大学博物館にて2022年度冬季企画展「衆縁(しゅえん)の募(つのり) 斧斤(ふぎん)の力(つとめ) 一幕末・明治東本願寺再建(さいこん)の歴史」を開催します。

今回の企画展では、大谷大学博物館が所蔵する1864年の禁門の変で主要な建物が焼失した真宗大谷派本山・東本願寺(京都市下京区)の再建事業史料50点をもとに、幕末・明治の再建のあゆみをたどります。今回は世界最大級の伝統木造建築とされている宗祖親鸞の木像を安置する御影堂(ごえいどう)の再建に関わる資料なども展示。大事業を支えた門信徒たちの信仰の篤さと、近代日本における匠たちの技術の一端に触れることができる貴重な企画展となっています。

※内覧会出席ご希望の場合、下記のメールアドレスまでご連絡いただきますようお願いいたします。



▲御影堂上棟式概図



▲阿弥陀堂南妻側面二百分之一縮図

大谷大学博物館 2022年度冬季企画展 ホームページ

<https://www.otani.ac.jp/events/2022/sfpjr7000000u052.html>

■見どころは御影堂をはじめとする大伽藍の再建にかけた人びとの願いと匠の技！

京都駅前に壮大な伽藍を擁する東本願寺は、真宗の本山であり正式名称を「真宗本廟(しんしゅうほんびょう)」といいます。広大な境内と荘厳な雰囲気をもつ東本願寺には、日々、全国各地の門信徒や観光客が参拝に訪れます。

わが国最大規模の伝統木造建築とされる御影堂をはじめとする諸建築は、重要文化財に指定されており、その規模と格式の高さが評価されています。

東本願寺は、1602年の創立以来、江戸時代を通じて4度も火災に見舞われ、そのつど全国門信徒たちの信心の力によって再建という大事業が成し遂げられてきました。現在の建物は、元治元年(1864)の禁門の変(蛤御門の変)の戦火による焼失のち、50年近い歳月をかけて再建されたものです。



<報道関係者の皆さまからのお問い合わせ先>

大谷大学入学センター(広報)後藤・野路 TEL: 075-411-8114/FAX: 075-411-8160

E-mail: [nyushi-c@sec.otani.ac.jp](mailto:nyushi-c@sec.otani.ac.jp) 【ご出席連絡先】

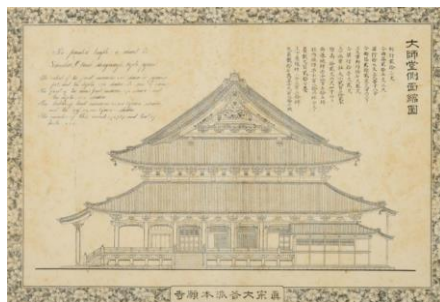
<一般の皆さまからのお問合せ先>

大谷大学博物館 TEL: 075-411-8483/[https://www.otani.ac.jp/kyo\\_kikan/museum/](https://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/)

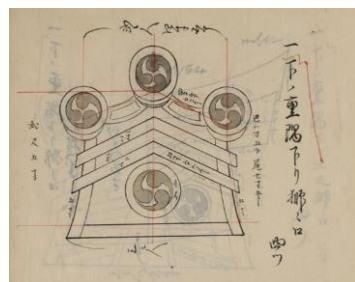
# 主要展示作品一例



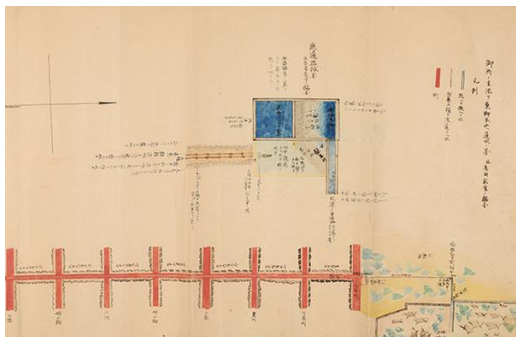
▲御影堂御地築図（部分）



▲阿弥陀堂南妻側面二百分之一縮図



▲御影堂瓦ノ数及寸法図（部分）



▲御所水道分水図（部分）



▲唐狭間迦陵頻伽彫物十分一小形



▲涉成園（枳殻邸）  
二百分之一之総絵図（部分）

## 展覧会出陳作品リスト ※一部抜粋

番号	資料名	時代	員数	材質・技法	所蔵
1	天明大火図	天明8年（1788）	1幅	紙本木版	大谷大学博物館
2	元治元年京都大火図	元治元年（1864）	1舗	紙本木版	大谷大学博物館
3	元治元年京都大火瓦版	元治元年（1864）	1舗	紙本木版	大谷大学博物館
4	乗如上人御影	江戸時代（19世紀）	1幅	絹本着色	大谷大学博物館
5	乗如上人筆正信偈文	寛政2年（1790）	1幅	紙本墨書	大谷大学博物館
6	達如上人御影	明治時代（19世紀）	1幅	絹本着色	大谷大学博物館
7	達如上人詠歌	江戸時代（18世紀）	1幅	紙本墨書	大谷大学博物館
8	東本願寺境内図	江戸時代（18世紀）	1舗	紙本着色	大谷大学博物館
9	東本願寺境内図	天明8年（1788）	1巻	紙本着色	大谷大学博物館
10	歓喜光院殿御影御讃御裏書	江戸時代（19世紀）	1冊	紙本墨書	大谷大学博物館
11	東本願寺御堂再建御書写	江戸時代（18世紀）	1冊	紙本墨書	大谷大学図書館
12	御再建に付き東本願寺家臣添状	寛政2年（1790）	1冊	紙本墨書	大谷大学図書館
13	御影堂御地築図	江戸時代（18世紀）	1巻	紙本着色	大谷大学博物館
14	御影堂石築之図	江戸時代（18世紀）	1巻	紙本着色	大谷大学博物館
15	東本願寺毛綱寄附者名簿控	明治時代（19世紀）	1冊	紙本墨書	大谷大学博物館
16	御影堂再建二百五十分一明細図	明治22年（1889）	1舗	紙本印刷	大谷大学博物館
17	御影堂側面縮図	明治21年（1888）	1葉	紙本印刷	大谷大学博物館
18	御影堂側面縮図（1/750）	明治時代（19世紀）	1葉	紙本印刷	大谷大学博物館
19	御影堂柱・虹梁寄附買入区別一覽表	明治時代（19世紀）	1舗	紙本着色	大谷大学博物館
20	御影堂瓦ノ数及寸法図	天保3年（1832）	8冊	紙本墨書	大谷大学博物館
21	御影堂金障子側立面図	明治時代（19世紀）	1舗	紙本墨書	大谷大学博物館
22	御影堂向拝縫破風十分一図	明治時代（19世紀）	1舗	紙本墨書	大谷大学博物館
23	御影堂両破風金物図	明治時代（19世紀）	1舗	紙本着色	大谷大学博物館
24	唐破風桁隠図	明治時代（19世紀）	1舗	紙本墨書	大谷大学博物館
25	框飾金物図	明治時代（19世紀）	1舗	紙本着色	大谷大学博物館

# 「大谷大学博物館 2022年度冬季企画展」開催概要

- 展示会名：衆縁(しゅえん)の募(つのり) 斧斤(ふぎん)の力(つとめ)  
—幕末・明治東本願寺再建(さいこん)の歴史—
- 会期：2023年1月17日(火)～2月21日(土)
- 開館時間：午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)
- 休館日：日曜日・月曜日・2/4(土)・2/7(火)・2/11(土) ※1/23(月)は開館
- 観覧料：無料
- 場所：大谷大学博物館(京都市北区小山上総町 大谷大学 響流館1F)  
※京都市営地下鉄烏丸線国際会館行「北大路」駅下車、6番出口すぐ  
※市バス「北大路バスターミナル」、「下総町」、「烏丸北大路下車」
- 主催：大谷大学博物館
- 後援：エフエム京都
- 大谷大学博物館2022年度冬季企画展：<https://www.otani.ac.jp/events/2022/sfpjr7000000u052.html>  
**※内覧会出席ご希望の場合、下記のメールアドレスまでご連絡いただきますようお願いいたします。**

【ご来館にあたってのお願い】

※公式サイト「新型コロナウイルス感染症対策」参照

## 大谷大学博物館について

本学博物館は、真宗学・仏教学・歴史学・文学など世界的に貴重な典籍、考古遺物、民俗資料など約12,000点を所蔵。年4回の企画展と年1回の特別展を地域に広く公開し、文化財を間近でみることができる博物館です。

博物館の設置構想は、本学図書館が収蔵していた貴重資料および考古遺物や民俗資料などの文物を含む多様な資料の適切な保管と調査研究、1987年に開設された博物館学課程の充実化、生涯学習など社会的要請への対応などを目的に策定されました。



## 大谷大学について

大谷大学は、1665(寛文5)年の江戸時代、京都・東六条に創設された東本願寺の学寮をその前身としています。その後、いくたびかの変遷を経て、1901(明治34)年、近代的な大学として東京・巣鴨の地に開学。1913(大正2)年、現在の地に移転開設しました。

親鸞の仏教精神に基づき、“人材”ではなく“人物”の育成を目標とする学び「人間学」を教育・研究の根幹とし、広く一般社会へ開かれた大学として発展を続けています。2021(令和3)年には、近代化120周年を迎えました。



画像素材ダウンロード 【URL】 <https://bit.ly/3YCeh8v> 【PASS】 otani

<報道関係者の皆さまからのお問い合わせ先>

大谷大学 入学センター(広報) 後藤・野路 TEL: 075-411-8114/FAX: 075-411-8160

**E-mail: [nyushi-c@sec.otani.ac.jp](mailto:nyushi-c@sec.otani.ac.jp) 【ご出席連絡先】**

<一般の皆さまからのお問合せ先>

大谷大学博物館 TEL: 075-411-8483/[https://www.otani.ac.jp/kyo\\_kikan/museum/](https://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/)